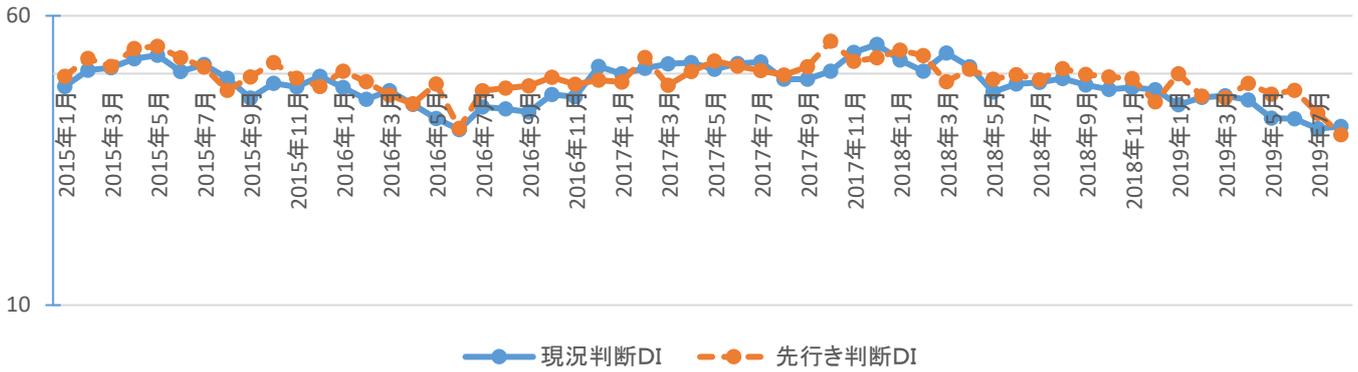


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年8月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《来客数の動き》暑い日が続いたので、冷たいドリンクやアイスクリームを買いに来る客が増えた。店内手作り弁当の販売量も好調だった。【コンビニ（店員）】
		不変	《お客様の様子》今年分の新規の受注は減っているが、既に受注している分の単価アップ等が図られている。【旅行代理店（経営者）】
		やや悪	《販売量の動き》夏季休暇もあり稼働日数の少ない8月は、例年販売も芳しくないが、前年比でみても落ちている。消費税上げに対しての客の反応も鈍い。【乗用車販売店（営業担当）】
	企業動向関連	やや良	《取引先の様子》特に建築業においては東京オリンピックに向けて予約注文が多く、作業が追いつかない状況になっており、比較的景気は良い。【金融業（従業員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》引き続き対応しきれないほどの引き合いがあり、忙しい状況が続いている。関東の案件が目立つが、全般的に多いと思う。【金属製品製造業（従業員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》稼働日数も影響しているかもしれないが、工作機械、自動車関係に関して、数量が以前に比べ2割弱減少している。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用関連	やや良	《求人数の動き》消費税増税前の駆け込み需要から物価が上昇し、消費が増加している。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》新規求人数は前年同期と同水準であり、有効求人倍率も高水準で引き続き推移している。中小企業では特に人手不足感が強い。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《周辺企業の様子》自動車関連企業を中心に予算緊縮の動きが顕著となってきた。【人材派遣会社（経営企画）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	7月の冷夏、8月の台風等、本来の夏らしい動きがなかったことによる影響を脱し、秋以降は、連休等で来客数の動きは徐々に戻りそうな雰囲気がある。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	消費税増税前の駆け込み購入や買換えの様子も余り見られない。大きな変化はなく推移しそうである。【乗用車販売店（経営者）】
		やや悪	客単価が下落している。コンビニの場合、消費税増税の影響はないが、他で影響することにより、コンビニで使う金が減るのではないかと感じている。【コンビニ（エリア担当）】
	企業動向関連	やや良	建築業に関して、比較的長期にわたる引き合いが入っており、デジタルマネー等の普及に関わる業務が活性化している。【金融業（従業員）】
		不変	設備投資が好転する兆しもみえず、円高に転じつつあるため、状況が良くなるとは考えられない。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	消費税増税の影響や大手自動車メーカーの先行きの不透明感があり、地元の一次下請企業にも影響がありそうである。【建設業（役員）】
	雇用関連	やや良	繁忙期となり企業からの人選依頼も増え、受注・成約共に増加が見込まれる。ただし、例年より求職者が安定性を求めて直接雇用を希望する割合が高く、マッチングが課題となる。【民間職業紹介機関（窓口担当）】
		不変	現状のとおり、客の経費精査はより細かくなっているが、景況感として大きな影響が出てくる時期は、2～3か月先ではなく来年度からと見込まれるため、今月と変わらないと考える。【人材派遣会社（営業担当）】
やや悪		東京オリンピック景気が落ち着き、発注減の製造業が増えている。また、先行き不安を抱える企業も多い。【新聞社【求人広告】（営業担当）】	